

患者さんへ

「腹膜透析関連腹膜炎と軽度認知機能障害の関連」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年1月から12月の間に当院腹膜透析外来に通院した患者さん
2 研究目的・方法	<p>腹膜透析(peritoneal dialysis: PD)の合併症であるPD関連腹膜炎は死亡の直接的原因となり得ます。PDは患者さんご自身がPD操作や管理を行う治療となります。そのため、PD患者さんに軽度認知障害(mild cognitive impairment: MCI)が発症すると、PD操作や管理に影響を与える可能性があります。しかし、先行研究ではMCIとPD関連腹膜炎が明確な関連は報告されていません。そこで、本研究では当院PD外来に通院する患者さんのMCIと遂行機能障害の有無が、PD関連腹膜炎の発症と関連するかどうか調査いたします。それにより、PD関連腹膜炎のリスク評価として認知機能評価を行うことの有用性を示すことが出来ると考えます。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年3月予定)後~2024年6月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	患者背景(性別、年齢、ボディマス指数(body mass index: BMI)、原疾患、体重)、病歴情報(原疾患、糖尿病の有無、腹膜炎の発症の有無)、外来受診時の検査値(軽度認知機能評価検査値、アルブミン、総蛋白、ヘモグロビン)等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 西村彰紀 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>